

田中正平 いなかの 音響學者、理學博士。文久二年五月十五日淡路國三原郡賀集村生れ、昭和二十一年十月十六日没（八六二—九五）。明治十五年東京大學理學部物理學科卒。十七年ドイツ留學、ヘルムホルツの下もとで音響學を、電気學を研究。二十二年純正オルガンを發明し、白獨兩國から研究費を受け、電気作動の純正調パイプオルガンを完成、ドイツ皇帝の大覽に供した。その後ドイツ滞在の儘、鐵道機械學研究に従事。二十二年歸朝、日本鐵道株式會社技師を経て、四十一年鐵道廳技師。大正二年退官して田中電氣研究所を創設、鐵道用信標装置等を發明した。また邦樂を研究して邦樂曲二十種を採譜。昭和七年東京音樂協會理事長に就任。

著書に、『日本和聲の基礎』（昭和十五年十二月二十五日創元社）。伊藤克夫著、田中正平と純正調』（昭和四十二年七月、二十日音楽之友社）等。

